

外科 整形外科



科長
井樋 栄二 教授

病棟 東病棟 11F

外来 外来診療棟A 3F 連絡先 022-717-7747(外来)

ホームページ <http://www.ortho.med.tohoku.ac.jp/>

主な対象疾患

- 反復性肩関節脱臼 ●投球障害肩 ●腱板断裂 ●凍結肩 ●先天性股関節脱臼 ●変形性股関節症 ●特発性大腿骨頭壊死症
- 変形性膝関節症 ●特発性大腿骨顆部骨壊死 ●膝前十字靭帯損傷 ●半月板損傷 ●骨軟骨損傷 ●膝蓋大腿関節障害 ●成人足部疾患
- 頸部脊髄症 ●腰部脊柱管狭窄症 ●椎間板ヘルニア ●脊柱変形 ●脊椎脊髄損傷 ●脊椎脊髄腫瘍 ●感染性脊椎炎 ●骨・軟部腫瘍
- 骨粗鬆症 ●代謝性骨疾患 ●関節リウマチ

診療内容

日本は世界に先駆けて超高齢社会を迎え、ただ生きているだけでなく、動けるからだを維持することが求められる時代になりました。自分のからだを自分の意思で動かすための部位(器官)には、関節やせぼねなどの骨格、それをつなぐ靭帯、それを動かす神経・筋が含まれます。これらはまとめて運動器と呼ばれます。整形外科はこの運動器の疾患を扱う診療科です。「外科系」の診療科ですが、外科治療である手術のみならず、内科的な治療(薬や理学療法)も行っています。診療対象としては、部位は脊椎脊髄、上肢、骨盤、下肢など全身に及び、年齢層は新生児から高齢者すべてが対象となります。高齢者にみられる骨粗鬆症、脊柱管狭窄症、変形性関節症等の変性疾患はもちろんのこと、外傷や若年者に多いスポーツ障害などにも積極的に取り組み、運動器疾患の予防・治療を通して人々の生活の質の向上に努めています。毎週の診療会議で治療方針を検討し、患者さん・ご家族の方々への十分な説明と同意のもと、治療にあたっています。また近年は体への負担が少ない手術(低侵襲手術)が求められる時代となり、関節鏡視下手術や脊椎内視鏡手術、悪性腫瘍に対する患肢温存手術を積極的に取り入れています。

診療体制

当院整形外科は大きく6つのグループ(肩、脊椎・脊髄、スポーツ・膝、小児・股関節、骨・軟部腫瘍、リウマチ・骨代謝)に分かれており、整形外科のほぼすべての分野、疾患を対象としています。各グループがそれぞれ専門外来を開設し、高度な知識と豊富な経験を持った整形外科医師が、放射線診断科医や病理医、そしてリハビリスタッフと連携して治療にあたっています。

得意分野

- 肩グループ：関節鏡視下手術を積極的に行うほか、人工関節手術も行います。
- 脊椎・脊髄グループ：除圧術や脊椎固定術、内視鏡手術を行っています。
- スポーツ・膝グループ：各種骨切り術や人工膝関節置換術、鏡視下靭帯再建術等を行っています。
- 小児・股関節グループ：各種骨切り術や人工股関節置換術、股関節鏡視下手術等を行っています。
- 骨・軟部腫瘍グループ：骨や軟部組織に発生した良性・悪性腫瘍および腫瘍類似疾患の治療を行っています。
- リウマチ・骨代謝グループ：抗リウマチ薬や生物学的製剤でリウマチの治療を、また各種薬剤を用いて骨粗鬆症の治療を行っています。



肩関節鏡の手術風景



手術症例は毎週カンファレンスで検討しています



整形外科のスタッフ

ご紹介いただく際の留意事項

■本院では画像のフィルムレスのシステムをとっております。患者さんをご紹介いただく際には、レントゲンやMRI等の画像はできる限りCD-ROM等の電子媒体の形で患者さんにご持参いただくようご手配願います。また当科外来は原則的に完全予約制でございますが、診断・治療に急を要する場合は電話でご連絡いただければ、適宜ご対応致します。